

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	21205
----------	-------

1. 開設大学	広島大学 理学部	開講場所 (キャンパス・施設)	東広島キャンパス
2. 科目名	最先端の宇宙観測方法		
	学問分野	番 号	名 称
3. 担当教員	深沢 泰司 理学研究科 実施責任者	吉田 道利 宇宙科学センター長	川端 弘治 宇宙科学センター
	水野 恒史 宇宙科学センター	大野 雅功 理学研究科	岡部 信広 理学研究科
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 28 年 7 月 29 日 (金) 10 時 00 分 ~ 16 時 00 分		
個別開講日	1 回目 7/29	2 回目 /	3 回目 /
	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
	7 回目 /	8 回目 /	9 回目 /
	10 回目 /	11 回目 /	12 回目 /
5. 募集定員	100 人		
6. 科目内容・ 授業計画	現代技術の発達により、宇宙観測においても革新的な手法が開発され、これまで観測できなかったような天体や現象を観測できるようになりつつあり、宇宙の謎の解明が進んでいます。本講座では、現代の最先端技術を用いた宇宙観測方法について、わかりやすく紹介する予定です。		
	10:00-10:50	最先端の宇宙観測方法	深沢 泰司
	10:50-11:40	大型光赤外線望遠鏡	川端 弘治
	11:40-12:30	重力波による観測	吉田 道利
	13:30-14:20	X線による観測	大野 雅功
	14:20-15:10	ガンマ線・宇宙線による観測	水野 恒史
	15:10-16:00	重力レンズによる観測	岡部 信広
7. 受講料	無料		
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) 東広島キャンパス理学部棟で開催、資料は当日配布予定		
9. 開講条件※1 ○あり・ない	① 最少開講人数 (10 人) 定員超過の不許可は選考により決定		
	② 不許可・不開講通知日 (7月15日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月16日(土)以降の開講科目は6月末まで)		
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/access/index.html 集合場所は、広島大学理学部棟正面入り口 朝 9 時 30 分より		
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ →広島大学→交通アクセス→東広島キャンパス 広島大学理学部 http://www.hiroshima-u.ac.jp/sci/		

※1 申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。